

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

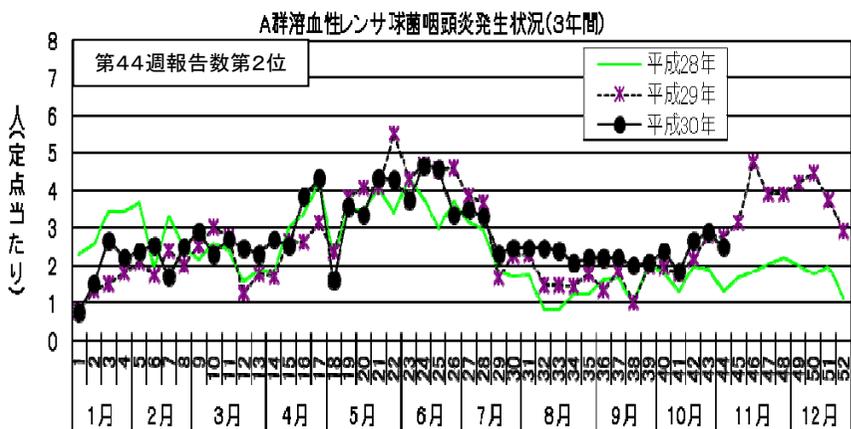
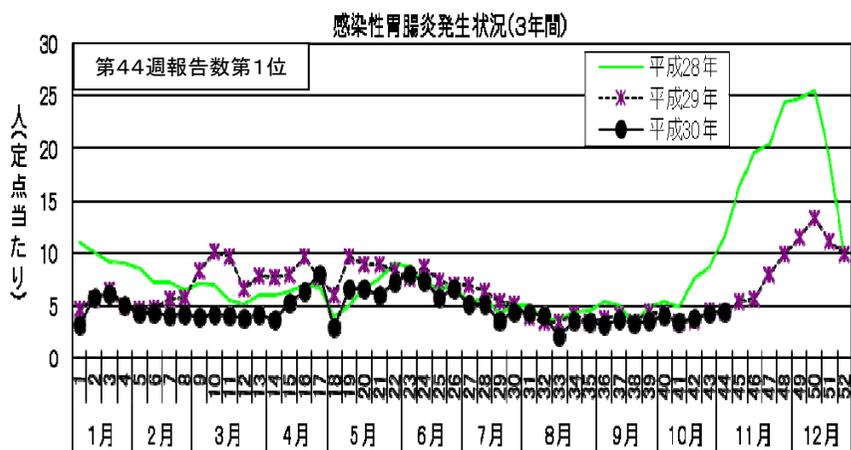
平成30年10月29日（月）～平成30年11月4日（日）〔平成30年第44週〕の感染症発生状況

第44週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.38人と前週（4.30人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.51人と前週（2.89人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.67人と前週（1.56人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



～薬剤耐性（AMR）を知っていますか？～

さまざまな細菌感染症の治療薬として抗菌薬（細菌の増殖を抑制したり殺したりする薬）が使用されています。抗菌薬は、適切な使い方をすれば非常に効果のある治療薬ですが、一方で中途半端に、あるいは不必要に使用すると、抗菌薬の効かない耐性菌を生み出してしまう危険もあります。薬剤耐性（AMR）とは、特定の種類の抗菌薬等が効きにくくなる、または効かなくなることです。

抗菌薬は正しく服用しましょう！

- かぜの原因の多くはウイルスのため、抗菌薬は効きません。
- 抗菌薬は医師の指示どおり最後まで飲み切りましょう。
- 抗菌薬をあげたり、もらったりするのはやめましょう。
- 抗菌薬をとっておいたり、別の機会に飲むのはやめましょう。
- わからないことは医師や薬剤師に聞きましょう。

感染症の予防が重要！

- 手洗いの徹底
- ワクチン接種
- 咳エチケットを守る。



＜耐性菌が増えるメカニズム＞

